

2024年度活動支援事業 信州 社会課題解決の担い手 ステップアップ事業
組織診断実施後の支援対象活動計画(詳細版)【公開版】

作成: 子ども・若者サポートはみんぐ(支援対象団体)
信州社会事業応援ネットワーク(活動支援団体)

基本情報【公開】

支援対象団体名	特定非営利活動法人 子ども・若者サポートはみんぐ
作成日	2026年3月31日
支援期間	2026年4月1日～2027年3月31日
事務局担当者(コーディネーター)名	福島 ゆかり、栗津 知佳子
専門家名(支援分野)	財務・収支構造の検討(NPO支援専門家)
参加予定の共通プログラム(オンラインで1～3時間程度の研修会を予定)	(以下から複数選択) ☒ ビジョン・ミッション ☒ 団体内コミュニケーション ☒ 中期計画の策定 ☒ 労務管理 ☒ 収支 ☒ ファンドレイジング ☒ 広報 ☒ 理事会 ☒ リスク管理

組織診断の実施【公開】

取り組み内容	時期
集合研修への参加(全2回)	2025年11月、2026年1月
組織診断チェックシートへの回答	2025年11月～12月
ステークホルダー意見の収集	2025年11月～12月
団体内ミーティング(全2回)	2025年12月～2026年2月
組織診断報告書の作成	2026年3月

個別支援計画【公開】

「信州 社会課題解決の担い手 ステップアップ事業」における2026年度の成果目標	
・組織内で経営課題への対応を検討するための会議体が仕組みとして継続し、議論と意思決定ができる。また支援終了後、外部支援がなくても自団体会議体を継続できるように準備ができている。 ・マネジメントチームで役割分担・人材・財務・ガバナンス等のトピックを検討し、方向性を定めて事務局や事業スタッフと連携して実行できる。 ・議論に参画するマネジメントチームにおいて、以前よりも組織運営に必要な知識が深まっている。 ・組織内で事業部門を超えた全体会議や茶和会、組織内広報などが企画・実施され、部門を超えたコミュニケーションがとれている。	

	テーマ	取組内容	時期	支援
1	全体的方向性を決める場作り	組織にとって緊急・重要な経営課題への対応を検討するためのマネジメントチームをつくり、組織として意思決定する体制をつくる	4月(以降毎月1回)	コーディネーターによる伴走支援
2	役割分担	・法人全体の役割分担を検討し、整理する。 ・各事業における役割分担を検討し、整理する。	5～7月	コーディネーターによる伴走支援
3	人材	①各部門で必要な人材の人数等の整理 ②求める人材像・役割の言語化 ③公募情報の検討	5～7月	コーディネーターによる伴走支援
4	組織内コミュニケーション	組織の風通しをよくする、全体会議や茶話会、組織内広報(メルマガ等の発信)などを企画して実施する	7～9月	コーディネーターによる伴走支援
5	財政	・財務・収支構造を理解し、健全化に向けてできることを検討する。次年度予算・事業計画策定前に検討を行い、次年度計画検討時に学びと議論を生かす。	8～12月	コーディネーターおよび専門家による伴走支援
6	ガバナンス・リスク管理	マネジメントチームでチェックリストに取り組む。結果に沿って対応を検討する。	11～1月	コーディネーターによる伴走支援
7	その他	他団体の視察	6～9月	